コミュニティヘルス分野に関心がある方へ

コミュニティヘルス分野に関心をもった方向けに、コミュニティヘルス分野で活躍する日本赤十字社職員にお話を伺いました！

コミュニティヘルスってそもそも何ですか？

コミュニティの定義は「一定の空間を共有する地域や、同じ価値や興味、状態などを共有する集団」であり、コミュニティの人々全体の健康の維持・向上に向けて取り組む活動に関わることを差します。コミュニティは集団、地域だけでなく、「妊婦という集団」等を意味することもあります。日本の医療・看護の現場では、患者さん一人一人の個別の症状などに介入し、適切な措置を施すことが多いかもしれません。一方で、保健医療インフラが十分でない海外の被災地や避難民キャンプにおいては、コミュニティ全体が抱える保健課題に着目し、水や衛生の問題を改善したり、母子保健、栄養、感染症予防、救急法などの知識や技術を普及することで、人々が自らの力で健康を守り、将来にわたって持続的に向上させて行くアプローチが重要です。

小学校での衛生知識の普及活動前に教員と打ち合わせ（フィリピン）

日本赤十字社でのコミュニティヘルス要員とはどういうものですか？

コミュニティヘルス活動は一般的に平時から行われています。日赤のこれまでのコミュニティヘルス活動は大きく分けて 2 つの介入方法があります。①②どちらも現地赤十字・赤新月社のスタッフが地域ボランティアの育成を行い、地域住民の健康状態の維持・向上に寄与する活動を行います。日赤コミュニティヘルス要員は現地赤十字・赤新月社がコミュニティヘルス活動を実施することを支援します。

① 開発事業として長期間にわたり現地赤十字・赤新月社事業を支援するもの

例：狭義の意味で言うとフィリピン保健医療支援での CBHFA (Community Based Health and First Aid)アプローチを活用しての活動と言えます。また、東アフリカ地域保健強化事業のモバイルシネマやラジオ放送や南部アフリカ支援でのキッズクラブや共同家庭菜園などは広義のコミュニティヘルス活動と言えます。

②医療保健緊急救援として現地赤十字・赤新月社を支援し開始または既存の拡大するもの

例：ハイチ大地震犠牲者支援での地域保健事業ではハイチ赤十字社はこれまで CBHFA アプローチを活用したことはありませんでした。そこで日赤は国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)と他の赤十字社と共に地域ボランティアをトレーニングするハイチ赤十字社のスタッフ育成をはじめとして、活動実施のためのアセスメントから事業計画実施、評価まで支援しました。

2022 年現在も支援中のバングラデシュ南部避難民支援では、コミュニティヘルス活動の経験のあるバングラデシュ赤新月社を支援して避難民に対するコミュニティヘルス活動を行っています。

注：コミュニティヘルス活動は、地域保健活動と同義語として使用しています。

コミュニティヘルス要員に求められるものは何でしょうか？

コミュニティヘルス要員として活動するために必要な知識と経験の他に、現地で担う役割と責任が ToR（業務手順書）に記載されています。（別添参照）

コミュニティヘルス要員は現地赤十字・赤新月社スタッフとともにターゲット地域の住民の健康に関する様々な因子を分析し、現地の宗教・文化・風習を尊重した事業計画の立案を行うことが必要です。それには、計画内容の実施、モニタリング、評価を行うための知識と経験が必要になってきます。活動にあたってはコミュニティグループ（コミュニティリーダー、女性グループ、保健スタッフなど）や保健省、NGOs、UNs などとのコーディネーションも大切です。

避難民ボランティアが栄養に関する指導を行っているところ（バングラデシュ）

現地ボランティアが健康教育を村で実施しているところ（フィリピン）

コミュニティヘルス要員を目指したい場合はどうしたらいいでしょうか？

計画立案・モニタリング・評価・予算管理に携わりますので、プロジェクトサイクルマネジメント（PCM）について勉強しておくのがお勧めです。加えて、現地赤十字・赤新月社スタッフや関係機関とのコミュニケーションは大切ですので、対人スキルを磨いておくことも必要です。また、疾病予防から健康の維持向上に関する広い知識と経験が必要とされますので、コミュニティヘルス分野での公衆衛生または地域保健分野の修士号があると、より活動の幅が広がります。

ハザードマップに関する指導を行っているところ（バングラデシュ）

コミュニティヘルス要員として活動する魅力を教えてください。

（コミュニティヘルス要員である日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院所属の菅原看護師長のケース）世界最大の人道支援団体である赤十字の最大の特徴と強みはボランティアネットワークです。2010 年に甚大な被害をもたらしたハイチ大地震の際には、地元住民ボランティアを育成するためにハイチ赤十字社スタッフへの CBHFA トレーニングから開始しました。わずか 4 名のハイチ赤十字社スタッフは、3 年間で 700 名もの地元ボランティアを育成することができました。村の隅々まで知り尽くしている地元ボランティアは健康に関するメッセージを伝達するだけでなく、困った時に頼りになる存在となりました。ハイチは失業率が高く、村を訪問すると、男性たちはカードゲームをしていたり、女性たちは洗濯と食事の支度をしたりという風景が多くみられました。そんな中で、ボランティアになった女性が、ボランティアになったことで「社交的になった」とうれしそうに話してくれたことは印象に残っています。こうしたボランティアのいきいきとした姿を見られることはやりがいに繋がります。

感染症対策に関する指導を行っているところ（ハイチ）

コミュニティヘルス要員を目指したきっかけはなんですか？

（コミュニティヘルス要員である日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院所属の菅原看護師長のケース）日赤の多くの派遣は緊急救援です。初めての派遣は紛争後の東ティモールで、国内唯一の総合病院の支援でした。外来、病棟は外傷の患者さんにまじって多くのマラリア、結核、下痢の患者さんがいました。特に小児病棟はベッドが不足するほどでした。その病気はほとんどが予防可能な感染症でしたし、未熟児も多い状況でした。村を訪れる機会があったのですが、水道もトイレもない家庭がほとんどでした。この時に改めて、疾病予防に関わる活動の重要性を再認識しコミュニティヘルスに携わるようになりました。

小学校で感染症対策に関する指導を行っているところ（ネパール）

村で現地ボランティアとコミュニティのハザードマップを作ったところ（フィリピン）

コミュニティヘルスについて学ぶ機会はありますか？

コミュニティヘルスに興味があり今後そうした活動に参加したい方のために、毎年コミュニティヘルス研修を開催しています。研修は活動に必要とされる基礎的な知識が得られる構成となっていて、架空のシナリオに沿って参加型地域保健活動の計画立案、モニタリング、評価の仕方を学んでいきます。

2019 年コミュニティヘルス研修グループワークの様子

2021 年コミュニティヘルスオンライン研修会の講義の様子

将来コミュニティヘルス分野を目指す方へのメッセージがあればお願いします。

コミュニティヘルス活動は、ボランティアが主体となって地域の健康問題について考え、その改善のために取り組んでいくもので、それをサポートするのがコミュニティヘルス要員の役割です。赤十字の強みであるボランティア力の向上に携さわることができ、とてもやりがいがあります。いっしょに学んでいきませんか。

また、実体験をご紹介いただいた、コミュニティヘルス要員である日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院所属の菅原看護師長の国際救援活動に関するインタビュー記事を別途掲載していますので、こちらもぜひご確認ください！

本記事をお読みいただき、コミュニティヘルス分野について気になる点などございましたら、お気軽に以下までお問合せください。
国際部企画課研修係　kokusai-hr@jrc.or.jp

シリア難民の子ども達の学校で衛生教育後、子供たちに衛生キットを配布。

CBHFA の指導者研修時の集合写真（フィリピン）

参考：日本赤十字社 Presents バングラデシュ避難民に寄り添ってい～海外救援看護師のルポルタージュ～
参考：現地で活動した国際要員の声（コミュニティ・ヘルス×看護師）

（参考）コミュニティ・ヘルス要員の ToR　　2020.12

コミュニティ・ヘルス要員（トレイニー）

役割

コミュニティ・ヘルス要員は、日赤の技術支援を受けながら緊急および非緊急の状況下で、ターゲット地域において人々の健康状態の維持向上を目的として現地赤十字・赤新月社（現地 RC）のスタッフと協同し支援提供をする。特に、脆弱なグループ（5 歳未満の子供、女性、高齢者など）の特定のニーズに留意し、活動の優先順位を決定する。

活動にあたってはコミュニティグループ（コミュニティリーダー、女性グループ、保健スタッフなど）や保健省、NGOs、UNs などの利害関係者間の円滑なコーディネーションを実施し健康問題に取り組む。

また、IFRC やその他の国際的な機関が開発・報告している手法などを用いて根拠に基づく計画を立案する。さらに、実施される活動は適切にモニタリング、評価を行い柔軟に改善していく役割がある。

職務と責任

- 給水・衛生、シェルター、生計、減災など、現地 RC 組織開発分野と連携しながら、現地 RC 社のアセスメント、活動計画立案を支援する。
- 現地 RC のカウンターパートと共に、ターゲット地域のアセスメントを踏まえ、地域の健康ニーズに対応する事業提案書、活動計画立案と実施、モニタリング、評価を行う。
- 活動方針と手順の遵守により確実に目標達成を目指す。
- 費用対効果を分析し、説明責任を果たすことにより健全な事業運営を行う。事業予算を管理し、支出に関する懸念事項を報告する。
- 正確でタイムリーなデータ収集により、予算執行報告ならびに活動報告を定期的に提出する。
- 現地の状況に CBHFA などのガイドラインを適合させ、標準化した地域保健活動の実施に貢献する。
- 現地 RC 社のさまざまなレベル・職種と密接に関わり、現地 RC スタッフとボランティアが地域保健事業を効果的に実施するのを支援する。
- 他の姉妹社との活動調整を図る。
- 現地で活動している姉妹社を含むヘルスチームと戦略的な計画立案とレビューに貢献する。その際、分野横断的な問題が活動計画に盛り込まれ、実施されるようにする。
- IFRC を含む国際機関の技術文書を尊重し、グローバルなヘルスアジェンダの対策に貢献する。
- 現地保健省と制度的、技術的調整と協力を行う。

- 現地 RC が効果的に他の利害関係者や政府機関、コミュニティグループなどと連携するよう支援する。
- 活動国および地域におけるヘルスシステムを理解し、適切にリファラルシステムが活用できるよう支援する。
- 派遣期間中に災害が発生した際は、要請に応じて救護活動に参加する。
- 専門的な助言が必要な際は適宜支援を求め、円滑に事業が遂行できるよう取り組む。

すべての要員に適用される義務

1.	「IFRC's strategy 2030」の目標達成に向けて積極的に取り組む
2.	赤十字の原則に従って行動する
3.	ラインマネジャーに指示された関連する業務の義務と責務を実行する
4.	自己の心身の健康管理を行い、必要時は支援を依頼し、業務が遂行できるよう努める

職務要件

教育	必須	望ましい
公衆衛生または地域保健分野の修士号または同レベル教育		x
経験	**必須**	**望ましい**
日本赤十字社組織で 5 年以上勤務経験	x	
国際派遣経験		x
参加型地域保健活動のアプローチの知識を活用した派遣経験		x
緊急時と非緊急時の状況下で、受益者、特に女性と子供、その他の脆弱なグループと効果的に関わった経験		x
事業計画立案・モニタリング・評価、予算管理の経験		x
ナラティブレポート作成の経験		x
知識・技術	**必須**	**望ましい**
Word processing, Excel processing, Power Point などのアプリケーションが自立して使える	x	
スタッフトレーニング、成人教育のスキル	x	
連絡調整やネットワークづくり		x
言語	**必須**	**望ましい**
英語による高い会話能力と筆記能力	x	
別の RC 公用語（フランス語、スペイン語、またはアラビア語）を上手に使いこなす		x